

## 保守的態度の構造

真鍋 一史

社会学の領域における実証的研究の有効性はその研究の「対象」と「方法」という二つの方向から検討される。ある「対象」に関する研究がこれまでまったくなされていないとすれば、その「対象」については、どのような「方法」による研究も有効であろう。ところがこれまですでになりの研究がなされている「対象」については、その「対象」を分析する「方法」を新しくすることによって研究は有効なものとなる。さらに、その「対象」をその時点でとりあげることには社会的な意義があるということも重要である。M. Weber が述べているように「時代における人間性の運命如何」という問いこそが社会学の発想をささえるものだからである。

さて、ここでは、以上のような考え方にもとづいて、「現代日本の保守-革新的態度」という分析対象をとりあげる。それは、一方においては日本でも現代社会におけるイデオロギーの終焉ということが云々されながら、他方においては相変わらず与野党（およびその支持者）間の距離の大きさから保守性-革新性という軸での政治的意見の対立の激しさが論じられているからである。

そこで、つぎに、このような対象を分析する「方法」であるが、そもそも「方法」には「視点」と「技法」という2つの側面が含まれている。「視点」とは「対象」をどうとりあげるか、あるいは「対象」のどの側面をとりあげるかといったことであり、「技法」とはそのとりあげた側面に対する「観察の技法」と「データの解析法」である。まず「視点」ということについては、これまで保守（および革新）の態度に関する実証的研究においては、人びとの保守（および革新）的態度を測定するためにいくつかの

操作変数（具体的には質問諸項目）を選び、「保守-革新スケール（尺度）」を作成するという方法がとられてきた。このような尺度を作成する手順は、L. Guttmanのスキュログラム・アナリシス（S A）やPOSA（Partial Order Scalogram Analysis）を例にとっていえば、はじめにやや多めの質問項目と回答のカテゴリを準備しておき、次元がどうしても下がらなかつたり、再現性係数がどうしても上がらなかつたりするばあいには、その質問項目を減らすとか、回答のカテゴリのいくつかをまとめるとかの試行錯誤を繰り返すというものであった。ここでは「視点」をかえて、つぎのような2つの分析の方向をとりたい。ひとつはスケール（一次元であれ多次元であれ）を作成するにさきだつて質問諸項目間の関係のパターン、いいかえれば保守（および革新）的態度の構造それ自体に焦点を合わせるということである。もうひとつは人びとの保守（および革新）的態度を測定するための操作的諸変数（質問諸項目）と人びとの保守-革新に関する自己概念を測定するための操作変数（質問項目）との意味の関連性の度合を分析することである。自己概念のばあいの保守-革新の操作的定義は何かというと、それは、端的に、被調査者が「保守」「革新」という用語で意味するもの内容ということである。いいかえれば保守-革新について調査者の側で何らかの定義を準備し、その定義に対応する操作変数（質問項目）を選択するというのではなく、被調査者が「保守」「革新」という用語によって意味するものそれ自体に注目しようとするのである。具体的にいえば、それは「あなたは自分が保守的だと思いますか、それとも革新的であると

思いますか」という質問項目に対する回答としてとらえられる。保守(および革新)ということに関して被調査者の定義と調査者の定義にどのような意味の類似性を見ることができようかというのがここでの問題関心である。

ところで、つぎに「技法」については、これはさらに「社会現象の観察の技法」と「観察によって得られたデータの解析法」に区別することができる。これまで社会調査における観察の技法には、(a)社会現象がそのうえに痕を残しているところの諸資料を分析する方法、(b)社会現象を直接に観察する方法、の2つの種類があるとされている。具体的にいえば、前者には「内容分析の方法」が、後者には「質問紙調査の方法(extensive)」と「自由面接調査の方法(intensive)」がある。この領域における残された課題は、これらの諸方法にいかにして橋渡しをするかということである。これは「質的データ」と「量的データ」をいかにして統合するかという課題でもある。ここではつぎのような仕方で橋渡し(あるいは統合)を試みる。(1)保守-革新の一方の極である保守ということに焦点を合わせて文献収集をおこなう。(2)収集された文献はデータの特徴によって「質的文献」と「量的文献」に分類される。(3)まず「質的文献」から出発するが、それには「理論的文献」と「評論的文献」が含まれる。(4)これらの文献から「保守(保守主義、保守主義者、保守感情、保守的態度、保守的ムード、保守化など)」に関する記述を抜き出し、これをカードに記載する。(5)カードを記述の内容の類似性という点に着目して分類する( APPENDIXを参照)。(6)つぎに「量的文献」から保守についての概念化、操作化の方法を検討するとともに、操作変数(質問項目)のリストを作成する。(7)上の(5)と(6)の結果を対照させながら戦略性という点からいくつかの操作変数を選択する。(8)それらの操作変数に保守-革新の自己概念に関する質問項目を加える。(9)以上の諸変数を用いた質問紙調査を実施する。

さて、以上のような手順で人びとの保守(および

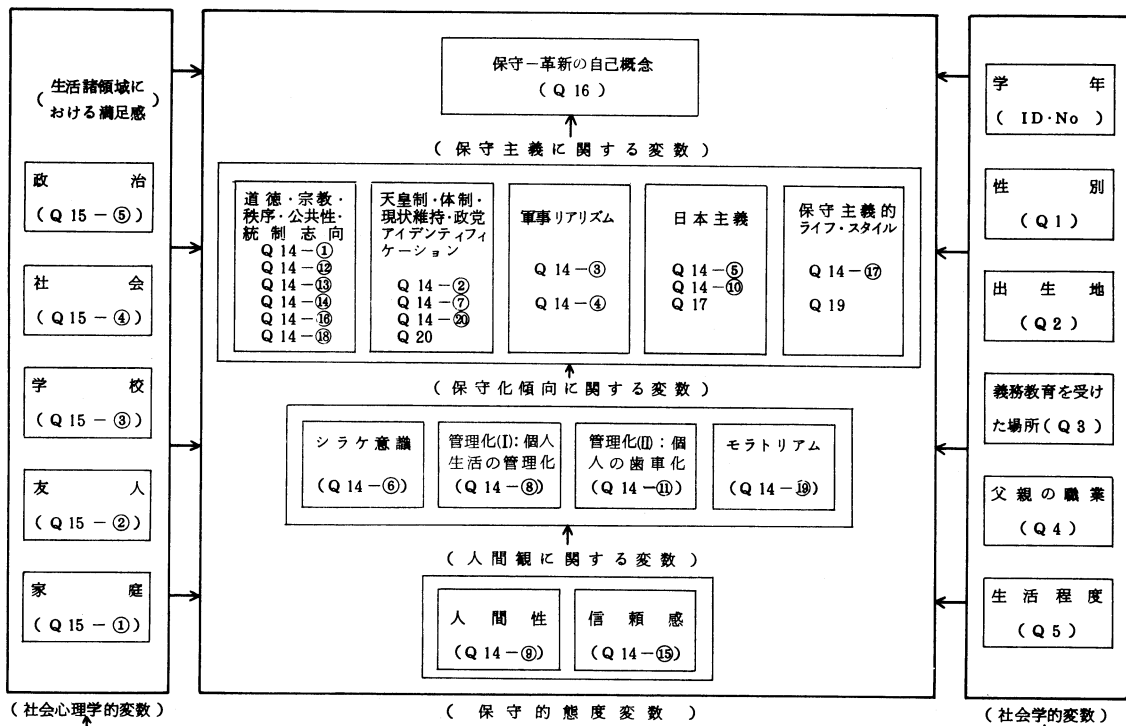
革新)的態度に関する質問紙調査をおこなうとして、つぎにそのような調査によって得られたデータの解析法(具体的にはその調査で用いられた諸変数間の関係の分析法)が問題となる。それは、すでに指摘した、(1)保守(および革新)的態度の構造の分析、(2)保守(および革新)的態度を測定するための操作的諸変数と保守-革新に関する自己概念を測定するための操作変数との意味の類似性の度合の分析、という2つの課題に応えるデータ解析法は何かということである。ここではL.GuttmanとJ.C.Lingoesの開発したスモールレスト・スペース・アナリシス(Smallest Space Analysis:SSA-I)を用いて以上の諸変数間の関係の構造を描き出すことを試みる。

SSAは多次元尺度解析法(multidimensional scaling)の系列に属し、質問諸項目に対する諸回答の背後にある型ないし構造を空間(直観的に型ないし構造をつかむことができるように2次元か3次元というできるだけ小さい空間)に視覚的に描写しようとする技法である。これによれば2つの変数間の相関の大きさが2次元あるいは3次元における2つの点の距離であらわされる。相関が大きくなればなるほど2つの点はますます近づき、逆に相関が小さくなればなるほど2つの点はますます遠ざかる。相関が視覚的に距離であらわされるので、SSAは上述のような課題に対してはきわめて有効な武器となるのである。

## (I) 調査目的

この調査は人びとの保守的態度の構造をとらえるためのパイロット・スタディとしておこなったものである。調査の仮説的図式はつぎのとおりである(図-1)。調査票の質問諸項目は、(1)保守的態度変数(a保守-革新の自己概念に関する変数、b保守主義に関する変数—①道徳・宗教・秩序・公共性・統制志向、②天皇制・体制・現状維持・政党アイデンティフィケーション、③軍事リアリズム、④日本主義、⑤保守主義的ライフ・スタイル—、

図-1 保守的態度調査の仮説的図式



c 保守化傾向に関する変数 ①シラケ意識, ②管理化(I): 個人生活の管理化, ③管理化(II): 個人の歯車化, ④モラトリアム —, d 人間観に関する変数 — ①人間性, ②信頼感 —, (2)社会心理学的変数: 生活諸領域における満足感(①家庭, ②友人, ③学校, ④社会, ⑤政治), (3)社会的変数(①学年, ②性別, ③出生地, ④義務教育を受けた場所, ⑤父親—あるいは保護者—の職業, ⑥生活程度), に分けられる。この調査の目的はこれら諸変数内と諸変数間の関係を明らかにすることにある。そのために分析の技法としては, (1)単純集計, (2)相関係数(Pearson), (3)スモールスト・スペース・アナリシス(SSA-I), などをを用いる。

なお, 以上のような仮説的図式は, L.Guttmanの開発したファセット・デザイン(Facet Design)の基本的技法であるマッピング・センテンスを用いるならば, 「保守-革新の自己概念」と「保守主義に関する変数」の諸項目は, つぎのように (Mapping Sentence) あらわすことができる。

Mapping Sentence

A

The extent of (1. conservative) (2. progressive) attitude of respondent (X) with respect to the problems of area of life

B

- (1. self : self concept on conservativeness-progressiveness )
- (2. social : morals, religion, discipline, public spirit )
- (8. political : Tennoism, regime, status quo, party identification )
- (4. military : unarmed neutrality, military buildup )
- (5. national : Japanese economic growth, to be born a Japanese again, Japanese development )
- (6. life-style: career woman, the new )

R

( very conservative )  
 → ( to ) attitude,  
 ( very progressive )

## Ⅱ) 調査方法

調査対象としては関西学院大学社会学部に在籍する1年から4年までの男女学生全員(2,210名)を選んだ(全数調査)。

つぎに調査方法は、講義(ゼミナール)の時間を約30分ほど割いてもらい調査員がくばった調査票(質問紙)に被調査者が回答を記入する「自記式」の「集合調査法」を採った。なお調査期間は1979年12月10日(月)から14日(金)までの5日間であった。

回収率は1年が74.3%, 2年が56.7%, 3年が74.7%, 4年が52.3%で、全体では64.5%となった(表-1)。

表-1 各学年の有効回収数と比率

|     | 在学生数  | 有効回収数 | %    |
|-----|-------|-------|------|
| 一年生 | 538   | 400   | 74.3 |
| 二年生 | 589   | 334   | 56.7 |
| 三年生 | 557   | 416   | 74.7 |
| 四年生 | 526   | 275   | 52.3 |
| 計   | 2,210 | 1,425 | 64.5 |

ここでは在学生数は演習(ゼミナール)に所属している学生数としている。実際は在学生数とゼミナールに所属している学生数には若干の差異がある。学年がだぶっている学生がいるためである。

回収した調査票はパンチ・カードにパンチングし、関西学院大学情報処理研究センターのコンピュータにかけて機械集計をおこなった。

## Ⅲ) 調査対象

有効回答者は1,425名であったが、その男女比は男性が60.0%, 女性が40.0%, 出生地別では六大都市が46.0%, その他の市が42.0%, 町村が11.7%, その他が11.9%, 義務教育を受けた場所については六大都市が42.1%, その他の市が43.1%, 町村が9.1%, その他(2箇所にもたがるケース)が5.6%となっている。また父親(保護者)の職業では農

林漁業が2.3%, 専門・自由職が13.1%, 管理職が32.9%, 事務職が17.5%, 労務職が12.3%, 商工自営が15.0%, 無職が2.0%, その他が4.9%の割合となっている。なお、この調査では被調査者に主観的に家庭の生活程度を評価させたが、上が2.2%, 中の上が29.2%, 中の中が52.8%, 中の下が11.0%, 下が2.3%という結果になった。

## Ⅳ) 調査結果

調査結果は個々の質問項目ごとの「単純集計」や各質問項目とデモグラフィック要因(社会学的要因)との「クロス集計」によって人びとの態度におけるある傾向(全体的な傾向と層別の傾向)を読み取ることができる。ところがそのような読み取りは個々にバラバラのものであることから、それら個々の傾向を背後で関連づけている基底面的側面の抽出がどうしても必要となる。そこでスモーレスト・スペース・アナリシス(SSA-I)を用いて質問諸項目間の関係の構造を描き出すのである。

### (1) 保守的態度

1) 保守的態度に関しては、つぎの24の質問を試みた。はじめの20問はステートメント・テストの形式を用いている。

①「祖先崇拜とか親孝行などは、日本の伝統に根ざした道徳であるからもっと重んじなければならない」(Q14-①)というステートメントに対しては、「賛成」(「強く賛成」+「やや賛成」)が51.2%, 「どちらともいえない」が32.6%, 「反対」(「強く反対」+「やや反対」)が16.2%という順序で、回答は過半数が賛成に傾いている。

②「天皇制は反動的な勢力に利用されるおそれがあるので、しだいになくする方向にもっていくべきだ」(Q14-②)というステートメントに対しては「どちらともいえない」がほぼ半分までを占めているが、賛否をあきらかにした者については、「賛成」37.8%, 「反対」16.4%で、前者が後者の約2倍となっている。

③「日本の安全保障政策として非武装中立という

考え方は非現実的である」(Q14-③)というステートメントに対しては、「賛成」39.9%、「どちらともいえない」30.3%、「反対」30.2%で、「賛成」の割合が他に比べていくぶん高くなっているものの、回答はだいたいにおいて三分されているといえよう。

④「自衛隊はこれ以上増強してはならない」(Q14-④)というステートメントに対しては、「賛成」50.1%、「どちらともいえない」29.5%、「反対」20.4%という順序で、回答は過半数が賛成に傾いている。

⑤「日本では高度経済成長のおかげで個人の生活が豊かになってきた」(Q14-⑤)というステートメントに対しては「賛成」68.1%、「どちらともいえない」21.2%、「反対」10.8%という順序で、回答は賛成のほうに大きく傾いている。

⑥「現在の日本においては国民がいくら努力したところで政治がよくなる」(Q14-⑥)というステートメントに対しては「賛成」44.2%、「どちらともいえない」17.4%、「反対」38.4%で、中立的立場の割合は相対的に低く、回答は賛否に二分されている。

⑦「現在の日本の経済や政治の仕組み(体制)はそのまま変わらないほうがよい」(Q14-⑦)というステートメントに対しては「賛成」19.5%、「どちらともいえない」28.7%、「反対」51.8%と割合は高くなっており、回答は過半数が反対のほうに傾いている。

⑧「現在の社会ではコンピューターなどによって個人の生活がますます管理化されるようになってきた」(Q14-⑧)というステートメントに対しては「賛成」62.2%、「どちらともいえない」23.8%、「反対」14.0%という順序で、回答は賛成のほうに大きく傾いている。

⑨「人間の本性はほんらい悪である」(Q14-⑨)というステートメントに対しては「賛成」27.1%、「どちらともいえない」33.7%、「反対」39.2%となっており、それを否定する割合が相対的に高いが、

だいたいにおいて回答は三分されている。

⑩「もう一度生まれかわるとしたらやはり日本人に生まれたい」(Q14-⑩)というステートメントに対しては「賛成」42.1%、「どちらともいえない」33.3%、「反対」24.6%の順序で、それを肯定する意見が相対的に高くなっているものの、約4分の1がそれを否定していることも見逃がせない。

⑪「現在の社会では個人は機械の一部のような存在になってしまっている」(Q14-⑪)というステートメントに対しては「賛成」54.6%、「どちらともいえない」22.9%、「反対」22.6%という順序で、回答は過半数が賛成に傾いている。

⑫「人間にとって宗教的な心というものは大切なものである」(Q14-⑫)というステートメントに対しては「賛成」54.2%、「どちらともいえない」31.8%、「反対」14.0%の順となっており、回答は過半数が賛成に傾いている。

⑬「今の人間はしたいほうだいをしすぎている」(Q14-⑬)というステートメントに対しては「賛成」38.8%、「どちらともいえない」38.0%でつり合っており、それに比べて「反対」23.2%の割合は小さくなっている。

⑭「公共の利益のために個人の自由が制限されるのはやむをえない」(Q14-⑭)というステートメントに対しては「賛成」41.2%、「どちらともいえない」26.6%、「反対」32.2%で、賛成意見の割合が相対的に高くなっているのが、反対意見の割合もけって低いものとはいえない。

⑮「たいていの人は信頼できる」(Q14-⑮)というステートメントに対しては「賛成」38.1%、「どちらともいえない」38.0%で釣合っており、それに比べて「反対」の23.8%がやや低くなっている。

⑯「わが身のことを考えずに社会のためにすべてを捧げつくすという人生はすばらしい」(Q14-⑯)というステートメントに対しては「賛成」36.7%、「どちらともいえない」29.0%、「反対」34.3%で、回答はだいたいにおいて三分されており、とくに賛否の意見がほとんど釣合っていることは注目される。

⑰「女性がどんどん職業をもつようになることは好ましいことである」(Q14-⑰)というステートメントに対しては「賛成」67.9%、「どちらともいえない」19.4%、「反対」12.6%で、回答は賛成のほうに大きく傾いている。

⑱「最近の世の中はざわつきすぎているのもっとタガをしめるべきだ」(Q14-⑱)というステートメントに対しては「賛成」43.9%、「どちらともいえない」42.3%で釣合っており、それに比べて「反対」の13.8%はかなり低くなっている。

⑲「いったん社会にでると自由がきかなくなるので、できることなら少しでも長く大学にとどまりたい」(Q14-⑲)というステートメントに対しては「賛成」43.7%、「どちらともいえない」24.4%、「反対」31.8%で、賛成意見の割合がもっとも高いが、反対意見の割合もけっして小さいものではなく、賛成意見のそれにかかなり近づきまでとなっている。

⑳「国会における各政党の勢力が現在のままでは将来に希望がもてない」(Q14-⑳)というステートメントに対しては「賛成」62.1%、「どちらともいえない」30.5%、「反対」7.4%の順序で、回答は賛成のほうに大きく傾いている。

㉑「あなたは自分が保守的だと思いますか、それとも革新的だと思いますか」(Q16)という質問に対しては「保守的」が52.6%、「どちらともいえない」が23.4%、「革新的」が24.0%という結果で、自分を保守的とする回答が過半数をこえており、それは「革新的」という回答の2倍ほどにもなっている。

㉒「あなたは一般に外国にくらべて日本がおくれているように思いますか、それとも外国にくらべて日本がすすんでいるように思いますか」(Q17)と

いう質問に対しては「日本はおくれている」が25.2%、「どちらともいえない」が41.6%、「日本はすすんでいる」が33.3%となっており回答は中立的意見を頂点として、「おくれている」と「すすんでいる」の二つの意見が、後者がいくらか前者をこえているものの、だいたいにおいて肩をならべる状態となっている。

㉓「あなたは新しい考え方や流行についてはどのような態度をとりますか」(Q19)という質問に対しては、「進んでとり入れる」が7.0%、「しばらく考えてよいものであればとり入れる」が88.6%、「新しいものにはいつも抵抗を感じてなかなかとり入れない」が4.4%という結果で、中間的意見の割合が圧倒的に高くなっている。

㉔「あなたの政治的態度はつぎのうちどれが一番近いですか」(Q20)という質問に対しては、「自民党的」が32.2%、「新自由クラブ的」が9.9%、「民社党的」が10.1%、「公明党的」が2.7%、「社会党的」が17.3%、「共産党的」が7.3%、「その他」が20.5%という結果になっている。

ii) 保守的態度とデモグラフィック要因(学年、性別、出生地、義務教育を受けた場所、生活程度)との関係は相関係数(Pearson)によって検討するが、そのさい保守的態度に関する質問諸項目のうち②④⑬⑰⑳㉑㉒については内容の関連性から選択肢の順序を逆にして相関係数を計算した。その結果、⑰と性別との相関を除いて、相関係数の数値はいずれも小さいことが知られた。項目⑰と性別については、女性がどんどん職業をもつようになることは好ましいことであるというステートメントに対しては男性にくらべて女性のほうで賛成の傾向がかなり強いという関係がみられる(表-2)。

表-2 保守的態度とデモグラフィック要因との関係 (Pearsonの相関係数)

|   | 学 年<br>(低学年<br>から<br>高学年) | 性 別<br>(男<br>から<br>女) | 出生地<br>(6大都<br>市から<br>町 村) | 義 務<br>教 育<br>(6大都<br>市から<br>町 村) | 生 活<br>程 度<br>(上<br>から<br>下) |
|---|---------------------------|-----------------------|----------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 問14 1. 祖先崇拜とか親孝行などは日本の伝統に根ざした道徳であるから<br>もっと重んじなければならない。               | -0.02                     | 0.01                  | -0.05                      | 0.00                              | 0.01                         |
| 2. 天皇制は反動的な勢力に利用されるおそれがあるのでしいになく<br>する方向にもっていくべきだ。                    | 0.04                      | 0.07                  | -0.06                      | -0.07                             | -0.07                        |
| 3. 日本の安全保障政策として非武装中立という考え方は非現実的だ<br>である。                              | -0.06                     | 0.14                  | -0.03                      | 0.03                              | -0.01                        |
| 4. 自衛隊はこれ以上増強してはならない。   | 0.02                      | -0.14                 | -0.04                      | -0.05                             | -0.03                        |
| 5. 日本では高度経済成長のおかげで個人の生活が豊かになってきた。                                     | -0.03                     | 0.04                  | -0.03                      | 0.01                              | 0.11                         |
| 6. 現在の日本においては国民がいくら努力したところで政治がよく<br>ならない。                             | 0.02                      | -0.05                 | 0.00                       | -0.02                             | 0.07                         |
| 7. 現在の日本の経済や政治の仕組(体制)はこのまま変わらないほ<br>うがよい。                             | 0.01                      | 0.01                  | 0.05                       | 0.03                              | 0.04                         |
| 8. 現在の社会ではコンピューターなどによって個人の生活がますま<br>す管理化されるようになってきた。                  | 0.01                      | -0.02                 | 0.02                       | -0.01                             | 0.05                         |
| 9. 人間の本性はほんらい悪である。  | 0.05                      | 0.12                  | 0.01                       | 0.03                              | -0.04                        |
| 10. もう一度生まれかわるとしたらやはり日本人に生まれたい。                                       | -0.05                     | 0.11                  | -0.00                      | 0.04                              | -0.01                        |
| 11. 現在の社会では個人は機械の一部のような存在になってしまっ<br>ている。                              | 0.06                      | 0.06                  | -0.01                      | -0.03                             | -0.03                        |
| 12. 人間にとって宗教的な心というものは大切なものである。  | -0.04                     | -0.08                 | 0.02                       | 0.00                              | 0.02                         |
| 13. 今の人間はしたいほうだいをしすぎている。  | -0.03                     | -0.02                 | 0.02                       | 0.04                              | 0.03                         |
| 14. 公共の利益のために個人の自由が制限されるのはやむをえない。                                     | -0.04                     | -0.04                 | 0.02                       | 0.01                              | 0.03                         |
| 15. たいてい人は信頼できる。  | -0.10                     | -0.09                 | -0.04                      | 0.04                              | 0.06                         |
| 16. わが身のことを考えずに社会のためにすべてを捧げつくすという<br>人生はすばらしい。                        | -0.09                     | -0.04                 | -0.05                      | -0.05                             | -0.03                        |
| 17. 女性がどんどん職業をもつようになることは好ましいことである。                                    | -0.03                     | -0.34                 | -0.04                      | -0.02                             | -0.00                        |
| 18. 最近の世の中はざわつきすぎているので、もっとタガをしめるべ<br>きだ。                              | 0.04                      | -0.10                 | 0.01                       | 0.03                              | 0.03                         |
| 19. いったん社会にでると自由がきかなくなるので、できることなら<br>少しでも長く大学にとどまりたい。                 | -0.00                     | 0.11                  | 0.04                       | 0.01                              | 0.04                         |
| 20. 国会における各政党の勢力が現在のままでは将来に希望がもて<br>ない。                               | 0.03                      | -0.03                 | -0.01                      | -0.02                             | -0.08                        |
| 問15 あなたはつぎのそれぞれにどの程度満足していますか。   |                           |                       |                            |                                   |                              |
| 1. 家 庭  | 0.01                      | -0.10                 | -0.03                      | -0.01                             | 0.15                         |
| 2. 友 人  | -0.06                     | -0.06                 | 0.04                       | 0.04                              | 0.13                         |
| 3. 学 校  | -0.05                     | -0.15                 | 0.11                       | 0.06                              | 0.17                         |
| 4. 社 会  | -0.02                     | -0.05                 | 0.08                       | 0.05                              | 0.13                         |
| 5. 政 治  | -0.01                     | -0.04                 | 0.03                       | 0.03                              | 0.14                         |
| 問16 あなたは自分が保守的であると思いますか、<br>それとも革新的であると思いますか。                         | -0.03                     | -0.02                 | 0.01                       | 0.03                              | 0.10                         |
| 問17 あなたは一般に外国にくらべて日本がおくれているように思いますか、<br>それとも外国にくらべて日本がすすんでいるように思いますか。 | 0.06                      | -0.02                 | 0.00                       | -0.03                             | -0.05                        |
| 問19 あなたは新しい考え方や流行についてどのような態度をとりますか。                                   | -0.03                     | 0.01                  | 0.05                       | 0.02                              | 0.05                         |
| 問20 あなたの政治的態度の傾向はつぎのうちどれが一番近いですか。                                     | 0.05                      | -0.02                 | 0.04                       | 0.02                              | 0.12                         |

iii) 保守的態度に関する質問諸項目間の関係については、「相関マトリックス」(Pearson)から、②と④(0.40)、③と④(0.41)の相関が高く、つぎが②と⑩(0.30)、⑦と⑩(0.31)、⑬と⑬(0.35)、①と⑬(0.31)、さらに①と②(0.28)、

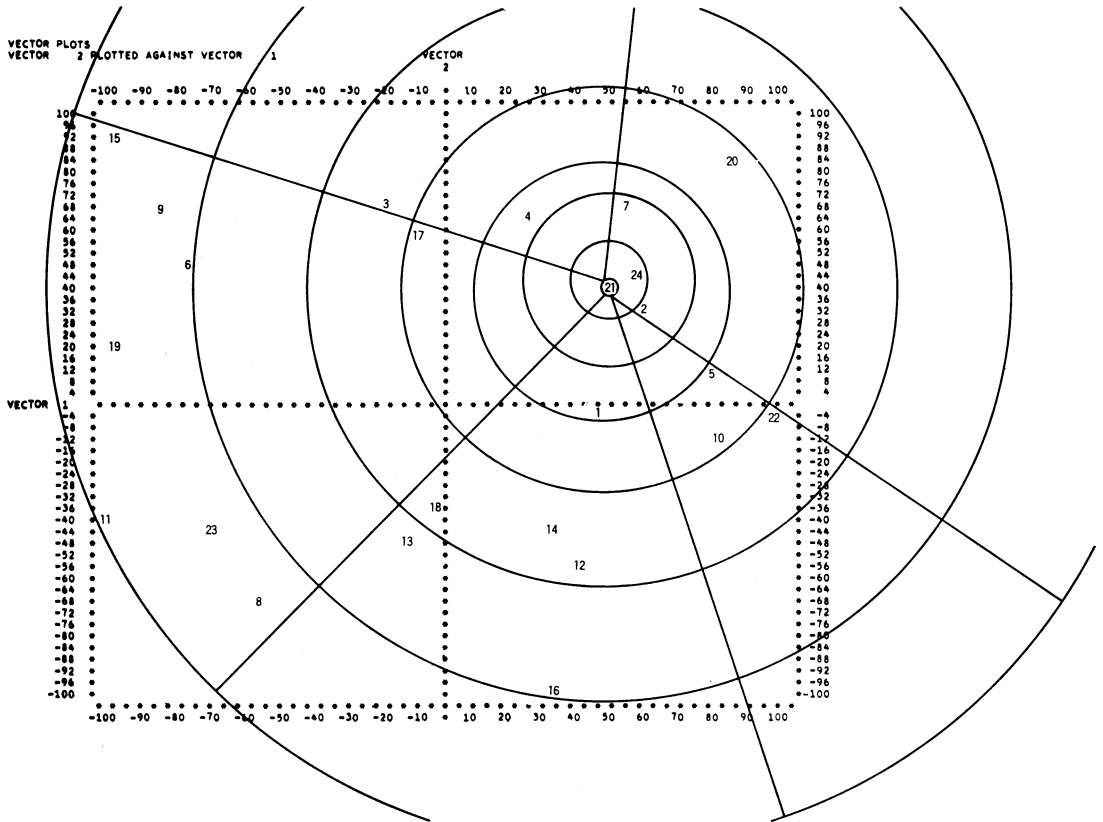
②と④(0.29)、①と⑱(0.27)、①と㉑(0.28)、⑦と㉑(0.25)、②と㉑(0.26)、⑦と㉑(0.29)、などであるが、全体として相関係数の数値はかならずしも大きくないということがわかる(表-3)。

表-3 保守的態度に関する質問諸項目間の関係 (Pearsonの相関係数)

|  | 1     | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 11    | 12    | 13    | 14    | 15    | 16    | 17   | 18    | 19    | 20   | 21   | 22   | 23    | 24 |  |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|------|-------|----|--|
| 1 祖先崇拝とか親孝行などは日本の伝統に根ざした道徳であるからもっと重んじなければならぬ。                    | -     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 2 天皇制は反動的な勢力に利用されるおそれがあるのでしだいにいく方向にもっていくべきだ。                     | 0.28  | -     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 3 日本の安全保障政策として非武装中立という考え方は非現実的である。                               | 0.11  | 0.04  | -     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 4 自衛隊はこれ以上増強してはならない。   | 0.17  | 0.29  | 0.41  | -     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 5 日本では高度経済成長のおかげで個人の生活が豊かになってきた。                                 | 0.12  | 0.10  | 0.09  | 0.06  | -     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 6 現在の日本においては国民がいくら努力したところで政治がよくならない。                             | 0.02  | -0.01 | 0.08  | 0.04  | -0.02 | -     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 7 現在の日本の経済や政治の仕組み(体制)はそのまま変わらないほうがよい。                            | 0.08  | 0.18  | 0.07  | 0.17  | 0.21  | 0.09  | -     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 8 現在の社会ではコンピューターなどによって個人の生活がますます管理化されるようになってきた。                  | -0.02 | -0.07 | 0.06  | -0.04 | 0.05  | 0.09  | -0.01 | -     |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 9 人間の本性はほんらい悪である。  | -0.06 | -0.06 | 0.07  | 0.05  | -0.08 | 0.19  | 0.07  | 0.03  | -     |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 10 もう一度生まれかわるとしたらやはり日本人に生まれたい。                                   | 0.21  | 0.16  | -0.03 | 0.06  | 0.14  | -0.10 | 0.13  | -0.00 | -0.08 | -     |       |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 11 現在の社会では個人は機械の一部のような存在になってしまっている。                              | -0.07 | -0.11 | 0.00  | -0.07 | -0.06 | 0.08  | -0.10 | 0.24  | 0.10  | -0.04 | -     |       |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 12 人間にとって宗教的な心というものは大切なものである。                                    | 0.31  | 0.18  | 0.04  | 0.06  | 0.06  | -0.06 | 0.00  | 0.07  | -0.08 | 0.08  | 0.05  | -     |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 13 今の人間はしたいほうだいをしすぎている。  | 0.14  | 0.08  | 0.08  | 0.08  | 0.02  | 0.08  | -0.05 | 0.09  | 0.08  | 0.05  | 0.11  | 0.20  | -     |       |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 14 公共の利益のために個人の自由が制限されるのはやむをえない。                                 | 0.10  | 0.13  | 0.05  | 0.07  | 0.12  | -0.02 | 0.05  | 0.06  | -0.00 | 0.13  | 0.02  | 0.18  | 0.16  | -     |       |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 15 たいていの人は信頼できる。   | -0.12 | -0.06 | 0.06  | 0.06  | -0.02 | 0.09  | -0.02 | -0.00 | 0.28  | -0.15 | 0.10  | -0.13 | -0.02 | -0.08 | -     |       |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 16 わが身のことを考えずに社会のためにすべてを捧げつくすという人生はすばらしい。                        | 0.11  | -0.01 | -0.07 | -0.08 | 0.01  | -0.10 | -0.08 | 0.02  | -0.13 | 0.10  | 0.02  | 0.21  | 0.18  | 0.17  | -0.22 | -     |      |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 17 女性がどんどん職業をもつようになることは好ましいことである。                                | 0.15  | 0.13  | 0.10  | 0.17  | -0.02 | 0.13  | 0.12  | -0.00 | 0.08  | 0.13  | 0.08  | 0.02  | 0.05  | 0.08  | 0.16  | -0.09 | -    |       |       |      |      |      |       |    |  |
| 18 最近の世の中はざわつきすぎているので、もっとタガをしめるべきだ。                              | 0.27  | 0.14  | 0.06  | 0.07  | 0.05  | 0.13  | -0.04 | 0.08  | 0.00  | 0.04  | 0.07  | 0.16  | 0.35  | 0.18  | 0.02  | 0.12  | 0.08 | -     |       |      |      |      |       |    |  |
| 19 いったん社会にでると自由がきかなくなるので、できることなら少しでも長く大学にとどまりたい。                 | -0.04 | -0.03 | 0.02  | 0.00  | 0.06  | 0.05  | 0.02  | 0.02  | 0.09  | -0.05 | 0.07  | 0.00  | 0.00  | -0.01 | 0.01  | 0.02  | 0.03 | -0.02 | -     |      |      |      |       |    |  |
| 20 国会における各政党の勢力が現在のままでは将来に希望がもてない。                               | 0.06  | 0.14  | -0.00 | 0.12  | 0.04  | -0.10 | 0.25  | -0.06 | -0.02 | 0.10  | -0.13 | -0.04 | -0.10 | 0.08  | -0.07 | -0.08 | 0.08 | -0.11 | -0.09 | -    |      |      |       |    |  |
| 21 あなたは自分が保守的であると思いますか、それとも革新的であると思いますか。                         | 0.28  | 0.30  | 0.12  | 0.28  | 0.15  | 0.05  | 0.31  | -0.02 | 0.03  | 0.17  | -0.11 | 0.10  | 0.04  | 0.10  | -0.05 | -0.05 | 0.19 | 0.18  | 0.01  | 0.18 | -    |      |       |    |  |
| 22 あなたは一般に外国にくらべて日本がおくれているように思いますか、それとも外国にくらべて日本がすすんでいるように思いますか。 | 0.10  | 0.08  | -0.01 | 0.05  | 0.20  | -0.07 | 0.14  | 0.02  | -0.06 | 0.23  | -0.11 | 0.09  | 0.01  | 0.02  | -0.07 | 0.04  | 0.01 | 0.02  | 0.02  | 0.06 | 0.11 | -    |       |    |  |
| 23 あなたは新しい考え方や流行についてどのような態度をとりますか。                               | 0.08  | -0.01 | -0.06 | -0.00 | -0.08 | 0.01  | -0.01 | 0.00  | 0.08  | 0.06  | 0.08  | 0.01  | 0.03  | 0.01  | 0.05  | 0.04  | 0.05 | 0.04  | -0.04 | 0.00 | 0.02 | 0.01 | -     |    |  |
| 24 あなたの政治的態度の傾向はつぎのうちどれが一番近いですか。                                 | 0.22  | 0.26  | 0.08  | 0.21  | 0.14  | -0.04 | 0.27  | -0.01 | 0.00  | 0.11  | -0.07 | 0.09  | 0.06  | 0.07  | -0.06 | -0.04 | 0.11 | 0.12  | 0.04  | 0.15 | 0.40 | 0.07 | -0.04 | -  |  |



図-2 保守的態度のSSAマップ



- 1 祖先崇拜とか親孝行などは日本の伝統に根ざした道徳であるからもっと重んじなければならない。
- 2 天皇制は反動的な勢力に利用されるおそれがあるのでしだいになくする方向にもっていくべきだ。
- 3 日本の安全保障政策として非武装中立という考え方は非現実的である。
- 4 自衛隊はこれ以上増強してはならない。
- 5 日本では高度経済成長のおかげで個人の生活が豊かになってきた。
- 6 現在の日本においては国民がいくら努力したところで政治がよくなる。
- 7 現在の日本の経済や政治の仕組み(体制)はこのまま変わらないほうがよい。
- 8 現在の社会ではコンピューターなどによって個人の生活がますます管理化されるようになってきた。
- 9 人間の本性はほんらい悪である。
- 10 もう一度生まれかわるとしたらやはり日本人に生まれたい。
- 11 現在の社会では個人は機械の一部のような存在になってしまっている。
- 12 人間にとって宗教的な心というもの大切なものである。
- 13 今の人間はしたいほうだいをしすぎている。
- 14 公共の利益のために個人の自由が制限されるのはやむをえない。
- 15 たいいてい人は信頼できる。
- 16 わが身のことを考えずに社会のためにすべてを捧げつくすという人生はすばらしい。
- 17 女性がどんどん職業をもつようになることは好ましいことである。
- 18 最近の世の中はざわつきすぎているので、もっとタガをしめるべきだ。
- 19 いったん社会にでると自由がきかなくなるのでできることなら少しでも長く大学にとどまりたい。
- 20 国会における各政党の勢力が現在のままでは将来に希望がない。
- 21 あなたは自分が保守的だと思いますか、それとも革新的だと思いますか。
- 22 あなたは一般に外国にくらべて日本がおくれているように思いますか、それとも外国にくらべて日本がすすんでいるように思いますか。
- 23 あなたは新しい考え方や流行についてどのような態度をとりますか。
- 24 あなたの政治的態度の傾向はつぎのうちどれが一番近いですか。

IV) SSAのマップ(2次元)(図-2)は「自分は保守的であるか、それとも革新的であるか」という保守-革新の自己概念を中心にL.GuttmanのいうRadexをなしていることがわかる。Radexはつぎの2つの側面に分けて分析することができる。①保守的態度に関する諸変数は、「保守-革新の自己概念に関する変数」を中心に、それに対するそれぞれの内容(意味)的な関連(content-relevance)の度合にしたがって、中心から周辺に向う6つの同心円に分割された空間部分に位置づけられている(Guttmanはこれをmodulating roleと名付けている)。同心円の内側から順に一番目の円内にある変数(24)は「保守-革新の自己概念に関する変数」との相関係数の値が0.40以上、以下同じように二番目の円内にある諸変数(2,7)は0.30以上、三番目の円内にある諸変数(1,4)は0.20以上、四番目の円内にある諸変数(5,10,17,20)は0.15以上五番目の円内にある諸変数(12,14)は0.10以上となっている。以上の同心円の外側にある諸変数は「保守-革新の自己概念」との意味的な関連性がきわめて低い(相関係数の値は0.05以下)ということである。②保守的態度に関する諸変数は「保守-革新の自己概念に関する変数」から出る5本の放射線によって、「天皇制・体制・現状維持・政党アイデンティフィケーション(2,7,20,24)」「日本主義(5,10,22)」「道徳・宗教・秩序・公共性・統制志向(1,12,13,14,16,18)」「保守主義的ライフ・スタイル(17,23)」「軍事リアリズム(3,4)」の諸領域の順序で、5つの扇形に分割された空間部分に位置づけられている(Guttmanはこれをpolarizing roleと名付けている)。

さて、以上から、「保守的態度調査の仮説的図式」はだいたいにおいて検証されたといえる。ただし、「仮説的図式」と「SSAマップ」には若干の相異点もみられる。①保守主義的ライフ・スタイルの項目として設定した「新しい考え方や流行に対する態度」が内側から五番目までの同心円内にプロットされなかったことであるが、これは回答の選択肢に問題があり、中間的回答の割合が9割近くまでを占めたことによるものといえよう。②保守主義に関する諸変数が保守-革新の自己概念の近くに集まるのに対して、保守化傾向に関する諸変数は遠くに散らばるだろうということは予測できた。ただその散らばり方が「保守主義的ライフ・スタイル」の領域の周辺部分に限られるということは予測できなかったことである。③保守(保守主義、保守的態度など)に関する既存の文献の記述の整理から「保守主義はペンシスティックな人間観に立っている」という仮説を設定したが、そのさい「人間観に関する諸変数」と「保守主義に関する諸変数」との相関係数の値は、「保守主義に関する諸変数」間にみられるものほど大きくないにしても、けっして小さいものではないであろうと予測した。ところが分析の結果、それが全体に小さいものであるということがわかった。以上の3点についてはさらに詳細な検討が必要であろう。

(2) 生活諸領域における満足感

1) ここでは①家庭、②友人、③学校、④社会、⑤政治の5つの生活諸領域における満足について質問をおこなっているが、これら①から⑤への順序は自己からの距離の拡大をあらわしているともいえる。そこで単純集計(表-4)の結果、自己からの距離が拡大するにともなって満足度は低下することがわかった。

表-4 生活諸領域における満足感

|       | 1. 家庭 |       | 2. 友人 |       | 3. 学校 |       | 4. 社会 |       | 5. 政治 |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 実数    | %     | 実数    | %     | 実数    | %     | 実数    | %     | 実数    | %     |
| 非常に満足 | 413   | 29.4  | 397   | 28.2  | 170   | 12.1  | 20    | 1.4   | 9     | 0.6   |
| やや満足  | 773   | 54.9  | 861   | 61.2  | 714   | 50.7  | 392   | 27.9  | 174   | 12.4  |
| やや不満  | 190   | 13.5  | 124   | 8.8   | 388   | 27.6  | 809   | 57.5  | 675   | 48.0  |
| 非常に不満 | 31    | 2.2   | 26    | 1.8   | 135   | 9.6   | 185   | 13.2  | 548   | 39.0  |
| 計     | 1,407 | 100.0 | 1,408 | 100.0 | 1,407 | 100.0 | 1,406 | 100.0 | 1,406 | 100.0 |

ii) 生活諸領域における満足感とデモグラフィック要因(学年, 性別, 出生地, 義務教育を受けた場所, 生活程度)との関係については, 生活程度を除いて, 相関係数(Pearson)はいずれもきわめて小さい(表-2)。生活程度については, どの生活諸領域においても生活程度が高くなるにもなって満足度も高まるという傾向がわずかにみられるのである。

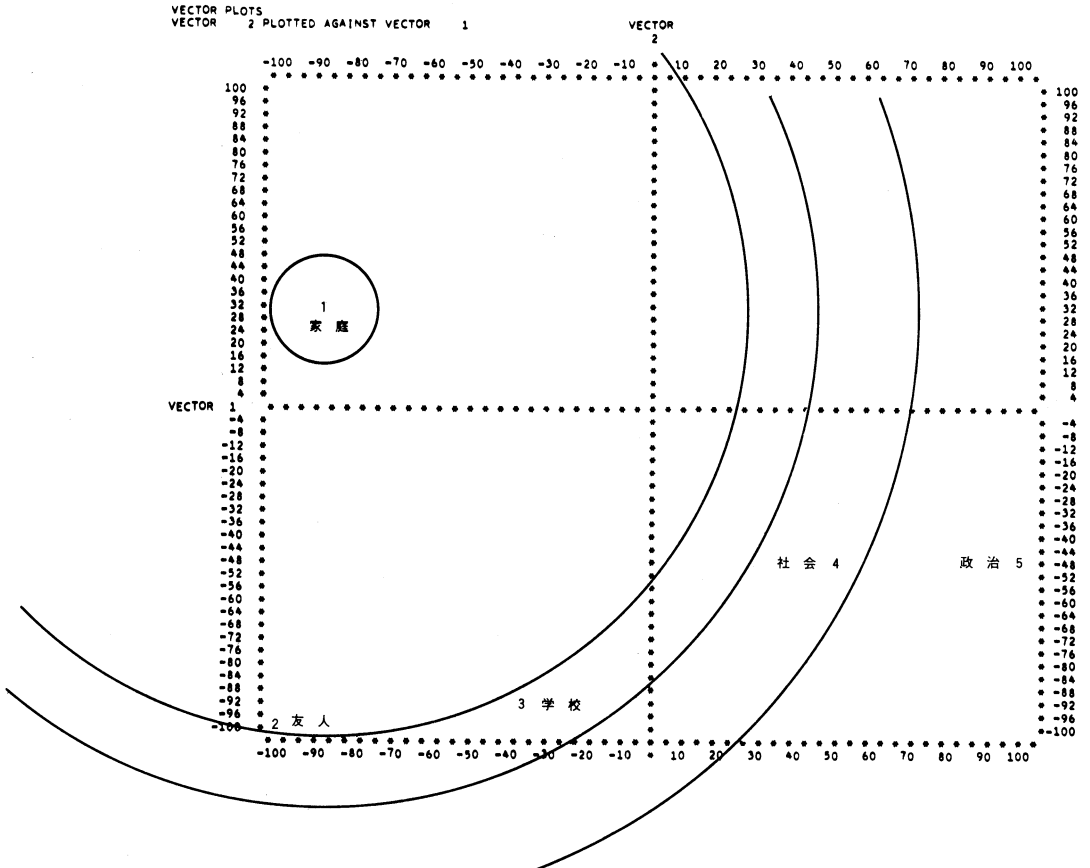
iii) 生活諸領域における満足感に関する質問諸項目間の関係については, 「相関マトリックス」(Pearson)(表-5)から, ④と⑤(0.58), ②と③(0.41)の相関が高く, つぎが③と④(0.36), ①と②(0.33)であり, さらに①と③(0.25), ③と⑤(0.24), ①と④(0.22)とつづくことがわかる。

表-5 生活諸領域における満足感に関する質問諸項目間の関係 (Pearsonの相関係数)

|      | 1    | 2    | 3    | 4    | 5 |
|------|------|------|------|------|---|
| 1 家庭 | -    |      |      |      |   |
| 2 友人 | 0.33 | -    |      |      |   |
| 3 学校 | 0.25 | 0.41 | -    |      |   |
| 4 社会 | 0.22 | 0.18 | 0.36 | -    |   |
| 5 政治 | 0.10 | 0.05 | 0.24 | 0.58 | - |

iv) SSAのマップ(2次元)(図-3)から生活諸領域における満足感に関する諸項目は, 「家庭」を中心に「友人」, 「学校」, 「社会」, 「政治」という順に同心円的に拡散していることがわかる(modulating role)。

図-3 生活諸領域における満足感のSSAマップ



V) 保守的態度と生活諸領域における満足感の関係については、全体的にみて「社会」と「政治」の領域における満足感のばあいに関連がある程度まで高いものが相対的に多いようである。とくに「政治

に対する満足感」と「現体制志向」および「政党の勢力の現状維持」の相関はかなり高い(0.35)ものとなっている(表-6)。

表-6 保守的態度と生活諸領域における満足感の関係(Pearsonの相関係数)

|   | 1. 家庭 | 2. 友人 | 3. 学校 | 4. 社会 | 5. 政治 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 祖先崇拝とか親孝行などは日本の伝統に根ざした道徳であるからもっと重んじなければならない。                  | 0.14  | 0.05  | 0.08  | 0.14  | 0.11  |
| 2 天皇制は反動的な勢力に利用されるおそれがあるのでしだいになくする方向にもっていくべきだ。                  | -0.11 | -0.08 | -0.16 | -0.21 | -0.18 |
| 3 日本の安全保障政策として非武装中立という考え方は非現実的である。                              | -0.02 | -0.02 | -0.05 | 0.01  | 0.02  |
| 4 自衛隊はこれ以上増強してはならない。  | -0.00 | 0.01  | 0.03  | -0.10 | -0.15 |
| 5 日本では高度経済成長のおかげで個人の生活が豊かになってきた。                                | 0.08  | 0.07  | 0.09  | 0.19  | 0.15  |
| 6 現在の日本においては国民がいくら努力したところで政治がよくなる。                              | -0.04 | -0.01 | -0.06 | -0.08 | -0.11 |
| 7 現在の日本の経済や政治の仕組(体制)はこのまま変わらないほうがよい。                            | 0.04  | 0.00  | 0.07  | 0.26  | 0.35  |
| 8 現在の社会ではコンピューターなどによって個人の生活がますます管理化されるようになってきた。                 | -0.01 | 0.03  | 0.04  | -0.01 | -0.05 |
| 9 人間の本性はほんらい悪である。   | -0.08 | -0.10 | -0.13 | -0.08 | 0.00  |
| 10 もう一度生まれかわるとしたらやはり日本人に生まれたい。                                  | 0.21  | 0.12  | 0.12  | 0.18  | 0.12  |
| 11 現在の社会では個人は機械の一部のような存在になってしまっている。                             | -0.02 | -0.01 | -0.02 | -0.12 | -0.13 |
| 12 人間にとって宗教的な心というものは大切なものである。                                   | 0.10  | 0.10  | 0.14  | 0.09  | 0.02  |
| 13 今の人間はしたいほうだいをしすぎている。   | 0.08  | 0.06  | 0.03  | -0.03 | -0.06 |
| 14 公共の利益のために個人の自由が制限されるのはやむをえない。                                | 0.03  | 0.06  | 0.09  | 0.11  | 0.06  |
| 15 たいてい人は信頼できる。   | 0.13  | 0.22  | 0.18  | 0.15  | 0.10  |
| 16 わが身のことを考えずに社会のためにすべてを捧げつくすという人生はすばらしい。                       | 0.08  | 0.04  | 0.12  | 0.01  | -0.04 |
| 17 女性がどんどん職業をもつようになることは好ましいことである。                               | 0.03  | 0.06  | 0.01  | -0.04 | -0.07 |
| 18 最近の世の中はざわつきすぎているので、もっとタガをしめるべきだ。                             | 0.11  | 0.02  | 0.08  | -0.02 | -0.05 |
| 19 いったん社会にでると自由がきかなくなるので、できることなら少しでも長く大学にとどまりたい。                | -0.03 | -0.00 | 0.10  | 0.03  | 0.04  |
| 20 国会における各政党の勢力が現在のままでは将来に希望がもてない。                              | -0.02 | -0.05 | -0.06 | -0.20 | -0.35 |
| 21 あなたは自分が保守的であると思いますか、それとも革新的であると思いますか。                        | 0.10  | 0.03  | 0.07  | 0.24  | 0.26  |
| 22 あなたは一般に外国にくらべて日本がおくれているように思いますかそれとも外国にくらべて日本がすすんでいるように思いますか。 | -0.14 | -0.06 | -0.13 | -0.20 | -0.17 |
| 23 あなたは新しい考え方や流行についてどのような態度をとりますか。                              | 0.01  | 0.09  | 0.04  | 0.04  | 0.02  |
| 24 あなたの政治的態度の傾向はつぎのうちどれが一番近いですか。                                | 0.03  | -0.00 | 0.02  | 0.08  | 0.10  |

## APPENDIX

保守（保守主義、保守主義者、保守感情、保守的態度、保守主義的ムード、保守化など）に関する記述の分類

## 1) 新しいもの・未知のものへの恐れ・忌避

「保守主義は、人間の本性に含まれる新しいものへの恐れ、忌避である。」 (④-P.5)

「（保守主義とは）未知のものへの忌避……。」 (④-P.5)

## 2) 改革・進歩の否定・阻止・抵抗・拒絶

「保守主義は、改革とか進歩の否定である……。」 (③-P.205)

「保守主義は、進歩を阻止するものである。」 (④-P.281)

「保守主義者には科学の進歩に対する抵抗、一見新しい考えに対する拒絶がある。」 (⑤-P.24)

「保守主義は、ラジカルな改革に反対する。」 (④-P.286)

「保守主義は絶対的に必要であるような新考案や改革のみ、みとめようとする政治的観点……。」 (①-P.25)

## 3) 漸進主義

「保守主義は、漸進主義である。」 (④-P.287)

## 4) 現状維持・満足・安定

「理想的保守主義者は、権力や検閲によって現状維持を好む政治組織に関わる。」 (⑤-P.17)

「現状に満足しようとする一般の保守感情によって保守主義は支えられる。」 (⑧-P.176)

「保守主義者の使命………社会の安定を助成することである。」 (①-P.19)

「（保守主義とは）あるがままにつきたいという、ひとつの保守感情……。」 (⑧-P.207)

## 5) (社会)秩序の認容・維持・確立・擁護

「保守主義は創造された秩序の認容である。」 (①-P.15)

「近代保守主義は、自然的保守主義（変化を嫌う人間性）と関連を保ちつつ『現存の社会秩序の維持』に立向うものである。」 (①-P.11)

「すべての保守主義の共通の基盤は『創造された秩序』を確かなものにするという信念……。」 (①-P.15)

「保守主義とは変化や改革に対して社会秩序を擁護……。」 (①-P.17)

「保守主義にとっては、秩序や権威や共同社会は、暴力と無秩序への衝動に対する主要な防御物である。」

「保守主義は現存する秩序と結びついたものである。」 (②-P.210)

## 6) 伝統志向

「保守主義とは歴史的継続と行動の伝統的組織への信頼……。」 (①-P.21)

「保守主義は、何か、根本的伝統的な諸観念を怒らせない政治的観念……。」 (①-P.25)

「保守（主義）的態度は、特定の過去の生成物である伝統ないしは慣習のなかに見いだされる価値意識に根ざしている。」 (②-P.210)

「保守主義とは、旧来の伝統風習等の維持を目的とする主義である。」 (⑤-P.11)

「伝統的良風美俗への固執……。」 (⑨-P.3)

## 7) 制度志向

「保守主義は、制度志向的である。」 (①-P.131)

「（保守主義は）確立された制度の知恵に対する尊敬……。」 (①-P.105)

「保守主義は、現存する制度を支持……。」 (⑤-P.27)

## 8) ペシミスティックな人間観

「保守主義者……は人間性についてペシ  
ミスティックな傾向をもつ。」 (①-P.16)

「保守主義の一要素：人間は墮落した生物であり、  
不完全さへ運命づけられ、気ままや無秩序におちい  
る。」 (①-P.20)

「保守主義は人間性一人間の能力を過大評価しな  
い……。」 (①-P.23)

9) 宗教志向

「保守主義者によれば、宗教は、人間の悪しき本  
能に対する最後の防壁である。」 (①-P.111)

「保守主義者は、宗教が明らかに保守主義におけ  
る重要な要素であると認めている。」 (①-P.112)

「保守主義の機能としては、政治の領域における  
国民の宗教的生活を保護することが最重要である。」  
(①-P.89)

10) 迷信的・宿命論的傾向

「保守主義者は、迷信的で宿命論的である。人の  
運命は、自分自身のコントロールにあらず、超自然  
力に左右されると考える。運命や星占いや不幸等に  
通じるところの“縁起”を信じる傾向がある。」  
(⑤-P.25)

11) 厳罰主義

「保守主義は、厳罰主義を支持する。」  
(⑤-P.19)

12) 暴行・暴政の否定

「徒党の暴行や暴政を否定……。」 (①-P.66)

13) 「道徳・人道・正義・公共性」志向

「保守主義は、道徳的善という理想を本質的には  
らむ。」 (①-P.127)

「保守主義の政治的目的は、人道上の立場を保つ  
こと……。」 (①-P.10)

「保守主義者は、人間に正義への情熱の存するこ  
とを認める。」 (①-P.24)

「『公共性』は正に保守主義を倫理的に底礎し得  
るものではなからうか。」 (①-P.121)

14) 義務・自己統制・反快楽主義

「(保守主義は)……義務の重要視……」  
(⑤-P.33)

「保守主義の政治的信条は、正義を義務化するこ  
とである。」 (①-P.10)

「保守主義は自己表現より自己統制を求む。」  
(①-P.19)

「保守主義者は、反快楽主義をとる。快楽を必要  
悪又は罪とみなす傾向は保守主義的症候群とされる。」  
(⑤-P.22)

15) 権威主義

「保守主義者の特徴は、権威主義的パーソナリテ  
ィの中心的概念である。」 (⑤-P.19)

「権威主義と保守主義を区別することは難しい。」  
(⑤-P.33)

16) 小集団への非寛容の傾向

「保守主義者は、小集団へ非寛容の傾向がある。」  
(⑤-P.19)

17) 階級志向

「保守主義的ムードは、人間と価値との両者を格  
づけする一階級づけする主張が依然として強力であ  
るムードである。」 (①-P.19)

「保守主義は、階級的社會構造への志向である。」  
(⑤-P.33)

18) 「アリストクラシー・少数支配」志向

「保守主義は、アリストクラシー(寡頭制)のた  
めのイデオロギーである。」 (①-P.13)

「保守主義者の主張は、アリストクラシーに向か  
う。」 (①-P.20)

「保守主義者は、多数支配を恐怖する。」  
(①-P.20)

## 19) 「脱イデオロギー・ドクトリン・イズム」

( ⑦ - P.294 )

「保守主義がイデオロギーを欠き、保守主義者が無意識的に具体的伝統を具現する故に、保守主義の理論は非論理的である。」 ( ① - P.3 )

「保守主義は、ドクトリンをもたない。」

( ④ - P.285 )

「(保守主義は)一切のイズムに拘束されない精神……。」 ( ④ - P.285 )

## 20) 「具体・特殊・個別」志向

「保守主義は、抽象性より具体性を尊ぶ。」

( ① - P.126 )

「保守主義は、現実に着目し、具体的なものに接近する。」 ( ① - P.127 )

「保守主義は、普遍的なものより特殊なものを志向する。」 ( ① - P.127 )

「保守主義は、現実に着目し、特殊なものに依拠する。」 ( ① - P.127 )

「保守主義は、具体的な個別事項の変更をめざす……。」 ( ④ - P.12 )

## 21) 事 実 主 義

「保守主義とは、合理主義に対する『事実主義』……。」 ( ⑧ - P.168 )

## 22) 経 験 主 義

「保守主義は、理論的合理化より経験を尊ぶ。」

( ③ - P.207 )

「保守主義の政治的信条は、経験の尊敬である。」

( ① - P.10 )

## 23) 現 実 主 義

「保守主義は、理想より現実を尊ぶ。」

( ① - P.126 )

「現実主義的理想主義の中に保守主義は、具現され、それこそ保守主義の本質である。」

( ① - P.127 )

「保守主義は現実との妥協である。」

「保守主義とは、あらゆるイズムやイデオロギーが終焉した場所での現実回帰である。」 ( ⑪ - P.3 )

「(保守主義は、)一種の保守感情に支えられた『現実主義』……。」 ( ⑧ - P.207 )

## 24) 妥 協 の 尊 重

「保守主義は、妥協を尊重する。」 ( ④ - P.287 )

## 25) 愛 国 心 ・ ナ シ ョ ナ リ ズ ム ・ 日 本 主 義 ・ 自 民 族 中 心 的 傾 向 ・ 国 民 の 有 機 的 一 体 の 信 念

「保守主義とは愛国心である。」 ( ⑤ - P.18 )

「保守主義とはナショナリズムである。」

( ⑤ - P.18 )

「『日本主義』への回帰……。」 ( ⑧ - P.172 )

「(保守主義は、)『お茶漬ナショナリズム』…  
…外遊する日本人が反動政治家も進歩的文化人も等しくお茶漬ノスタルジーにとりつかれる現象……。」 ( ⑧ - P.171 )

「保守主義者は自民族中心的傾向をもつ。」

( ⑤ - P.20 )

「保守主義は国民の有機的一体の信念である。」

( ③ - P.122 )

## 26) 軍 国 主 義 ・ 軍 事 リ ア リ ズ ム

「『軍事リアリズム』ないし『戦争ゲームの理論』……。」 ( ⑧ - P.192 )

「保守主義者は、軍国主義的自国防衛を正当化、あるいは合理化して軍事的闘争への参加を支持する傾向がある。」 ( ⑤ - P.19 )

## 27) 私 有 財 産 制

「保守主義は、私有財産を擁護する。」

( ① - P.19 )

「保守主義は、私有財産を主張する。」

( ① - P.56 )

## 28) 社 会 主 義 ・ 共 産 主 義 へ の 対 決 の 風 潮

「20世紀の保守主義は、社会主義や共産主義に対決する風潮として見出される。」 (①-P.87)

29) 管理社会への順応

「保守化とは管理社会への順応であり、管理社会が民主的に完成すると、若者たちから理想主義的な夢と情熱に酔う余裕を奪う。」 (⑨-P.6)

30) 体制維持

「(保守化とは管理社会への順応であり)管理社会にひとたび巻きこまれた人々は、小さな職業と地位に執着するサラリーマン中間層として体制の持続を願う。」 (⑨-P.6)

31) モラトリアム

「青年の退行・無気力・逃避・保守化と見えるものは、組織や機構によって押しつけられた規範的な青年モデルへの意図しない異議申し立てであり、消極的ながら管理社会に明け渡されたアイデンティティ奪回の営みである。(中略)大多数の青年は、この両極(会社人間とヒッピー)の道を取らず、実社会の要求する役割と青年文化のモラトリアムの間のどこかで折り合いをつけようとする。この場合、青年は実社会に入り、社会的役割を引き受けながら、モラトリアムを内面に保持しようとする。」

(⑩-P.35,36)

32) シラケ意識

「(保守主義とは、)シラケ意識、その上に安定志向が積み重なる……………」 (⑨-P.6)

「今日の保守化は若者たちを無気力にさせ、シラケさせる。」 (⑨-P.10)

33) 私生活優先の思想・奉私滅公の時代思潮

「戦後一貫して増大してきた考え方、その基調は一口で言って私生活優先の思想である。(中略)保守政党に投票するのが、私生活優先の思想に合致している……………」 (⑩-P.14,16)

「保守は『滅私奉公』の時代風潮をつかみ次に『奉私滅公』の時代思潮もつかんだ。」 (⑩-P.14)

34) 女性の保守化

「時代による意識変化をあらわす3つのパターン(時代によってあまり変わらない意識、時代によって変わる意識、意識のUターン現象)のうち、女性の保守化と呼べるのは、意識のUターン現象である。」

(⑫-P.65)

「良妻賢母への復帰 — 女が女に生まれたことを肯定し、結婚や家庭生活に強いあこがれを持つ…。」

(⑫-P.62)

「ウーマン・リヴには拒否反応が強い。」

(⑫-P.59)

35) 高度成長・豊かさの達成と保守体制・保守化

「高度成長が保守体制を支えた。」(⑥-P.194)

「豊かさの達成による保守化……………」

(⑥-P.209)

「これだけ豊かになり生活が安定しているのだから、なにゆえ体制を揺さぶって混乱をもたらす必要があるのか。」 (⑫-P.64)

文 献

- ① 北岡勲『保守主義研究』弘文堂 1960
- ② 鈴木幸寿「保守主義について」『保守主義』誠信書房 1958
- ③ 多田真勲『保守の思想』南窓社 1972
- ④ 橋川文三『保守の思想』筑摩書房 1968
- ⑤ 大前衛『保守主義とその尺度の研究』(関西学院大学社会学部修士論文) 1973
- ⑥ 白鳥令『保守体制』東洋経済新報社 1977
- ⑦ 白井吉見『保守と革新』筑摩書房 1967
- ⑧ 篠原一『現代日本の文化変容』れんが書房 1971
- ⑨ 高島通敏「政党的衰退と日本の保守化」『思想の科学 — 保守化する世界と日本』(No.104) 1979
- ⑩ 日高六郎「保守政権の持続について」『同書』
- ⑪ 栗原彬「青年現象の意味 — 青年の『保守化』」『同書』
- ⑫ 袖井孝子「女性の保守化 — その構造と意味」『同書』



## 付 記

この研究におけるコンピューター・プログラミング、データ処理については関西学院大学情報科学研究会の福田秀人君と高辻富彦君にお世話になった。また質問紙調査の実施とAPPENDIXの作成については関西学院大学世論研究会の近江一郎、野上亨、梅原総平、藤井憲一郎、入井洋介の諸君のご協力を得た。記して感謝の意を表わしたい。